

本格シーズン到来!!

感染性胃腸炎に注意

気温がグッと下がって空気が乾燥する秋から冬——。この時期に子どもが吐いたり下痢をしたら、それは単に「お腹の調子が悪い」だけではなく、ウイルスのしわざかもしれません。冬に主に流行するウイルス性の胃腸炎は『ノロウイルス』、『ロタウイルス』です。



ノロウイルス

感染力がとても強い!  
症状は3日ほどで改善!



ロタウイルス

乳幼児の感染率が高い胃腸炎!  
ノロよりも症状が長く続く...

症状

激しい嘔吐

下痢は比較的軽めの場合が多い  
発熱 38℃未満、または発熱なし

症状

激しい下痢、嘔吐・発熱

(便の色が白っぽく、酸っぱい匂いが特徴)  
→激しい下痢による脱水症に注意!

嘔吐をしたときは...

子どもは少しの刺激でも吐くことがあります。

- 吐いた時は嘔吐物が気道に詰まって窒息しないように、子どもの頭と身体を横に向けて寝かせる。  
吐き気をもよおしている時は、抱っこしてそっと背中をさする。
- 口の周囲をきれいにし、嘔吐物の内容を確認する。  
(受診する時にしっかり伝えられるようにしましょう。)
- 体温を測り、顔色や呼吸の状態などをチェックする。
- うがいができる子はうがいをさせる。うがいできない場合は、濡らしたガーゼで口の中を拭き取る。  
※口の中に嘔吐物が残っていると、において吐き気が誘発される。
- 衣服が汚れていたら着替える。
- 水分補給は吐き気が治まるまでは控え、子どもが水分を欲しがらうなら、経口補水液を少量ずつ飲ませる。



下痢をしたときは...

色、固さ、血液が混じっていないかなど、便の状態を確認し、受診する時に説明できるようにする。便の写真を撮り、医師に診てもらってもよいでしょう。

『おなかをこわした時の食事』について、お食事だより11月号に記載されていますのでご参照ください。

子どもは胃腸が未熟なので、よく下痢になります。ノロウイルスやロタウイルスを伴う下痢は、周囲への感染を防ぐため迅速な処理を。



年末年始の急病に備えて...

年末年始はほとんどの病院が休診になります。お子様の急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院のほか、近くの救急病院の診療時間を確認しておきましょう。

【世田谷区医師会】のホームページに、年末年始でも診療可能な病院一覧が載っています。

ウイルス性胃腸炎に  
アルコール消毒は無効!

※次亜塩素酸ナトリウム消毒液が有効  
手洗い・うがいで予防を!!!



昭和ナースリー11月の感染症報告

- 伝染性紅斑(りんご病) 1名(くま組)